



2023年8月4日

各 位

会 社 名 株式会社 J P ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 坂 井 徹
(コード番号：2749 東証プライム)
問合せ先 執行役員 都 志 謙 治
(TEL 052-933-5419)

「保護者の困りごと」である夕食準備に対応した各施設での食品販売について

当社グループ会社である株式会社日本保育総合研究所(以下、「日本保育総合研究所」という。)は、保護者の困りごとである「夕食準備」への対応として、当社グループ会社である株式会社日本保育サービス(以下、「保育保育サービス」という。)が運営する東京都・神奈川県・埼玉県の保育園10園で、2023年8月4日より食品のテスト販売を開始いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 実施の目的

当社は、2023年5月11日付「中期経営計画のローリングに関するお知らせ」として公表しておりますとおり、外部環境の変化等を鑑み中期経営計画の重点目標に「成長・競争優位性の確立」「収益構造改革」「経営基盤の改革」の3つを掲げ、成長に向けた積極的な新規事業の開発、M&A、システム化等によるインフラ整備、盤石な事業基盤の構築により、新たなサービス価値の創出と競争優位性を確立し、事業を通じて社会問題を解決することで、当社グループの経営理念である「子育て支援を通じて笑顔溢れる社会づくりに貢献します」を実現するとともに持続的な成長を目指します。

今般、「成長・競争優位性の確立」の具体的な施策として、「保護者の困りごと」の解決に向けた新たな事業展開として、自宅で簡単に調理できる夕食準備として「食品の販売」を行います。保育園を利用している保護者の方々の一番の困りごとは「夕食準備」をすることであるという当社アンケート調査に基づき、少しでも保護者の方々の負担軽減やお子さまとの時間が取れることを目的に、お迎えの際に購入できるよう各施設で販売を行うものです。

2. 実施概要と今後の展開

① 実施概要

東京都・神奈川県・埼玉県の日本保育サービスが運営する保育園10園で、保護者の困りごととしての「夕食準備」への対応として、お子さま向けの優しい味付けで、お子さまと一緒に食事が取れるよう大人と子ども1食分ずつの容量が入った簡単に調理できるレトルト食品6品目をテスト販売いたします。

各保育園に特設の什器に陳列された商品をお場で、電子決済によりお子さまをお迎えの際に、簡単に購入することができます。販売する商品は、お子さまに人気があり、栄養価にも配慮した食品となっております。レトルト食品のため、常温管理が可能であり、食品衛生上安心してお持ち帰りいただくことが可能です。

テスト販売により、商品動向やご利用いただいた保護者の方々の声を反映し、販売施設や商品ラ

インナップの拡充を検討してまいります。

【販売商品・購入方法】

	商品内容	価格
販売商品・価格	・カレー (容量 280g) ・ハッシュドビーフ (容量 240g) ・タラの野菜あんかけ (容量 240g) ・オムハヤシ (容量 240g) ・鯖のみそ煮 (容量 200g) ・煮込みハンバーグ (容量 240g)	400 円(消費税込) 400 円(消費税込) 400 円(消費税込) 400 円(消費税込) 400 円(消費税込) 400 円(消費税込)
商品特徴	・お子さま向けの優しい味付けのレトルト食品であり、子ども、大人の 1 食分の容量のため、一緒に食事が取れる	
販売方法	・各施設に商品陳列棚を設置し、電子決済により購入	

【実施施設】

東京都、神奈川県、埼玉県の当社運営する保育園 10 園でテスト販売を実施

② 今後の展開

2023 年 8 月 4 日より食品のテスト販売として 10 園で開始し、テスト販売の状況を確認したのち、日本保育サービスが運営する全国の保育園での販売、商品ラインナップの拡充等を図ってまいります。また、当社グループが運営する保育園のみならず、同業他社への外販や子育て支援プラットフォーム「コドメル」を活用した Web での販売も検討しております。

さらに、保育園での献立ノウハウを活用したオリジナル商品の開発等も計画しており、保護者の方々の困りごとを解決することで、当社グループの経営理念である「子育て支援を通じて笑顔溢れる社会づくりに貢献します」を実践してまいります。

3. スケジュール

食品テスト販売：2023 年 8 月 4 日(金)から日本保育サービスが運営する東京都・神奈川県・埼玉県の保育園 10 園で販売を開始します。

4. 今後の見通し

本件が当社の 2024 年 3 月期の連結業績に与える影響は軽微であります。

以上